

未来をささえる、Your Innovative Partner



OCPサーバ取り組みのご紹介

IDCフロンティア 技術開発本部

大屋 誠

自己紹介



大屋 誠 (Makoto Oya)

– 株式会社IDCフロンティア

– 技術開発副本部長

OpenCompute Project Japan運営委員

オープンクラウド実証実験タスクフォース運営委員

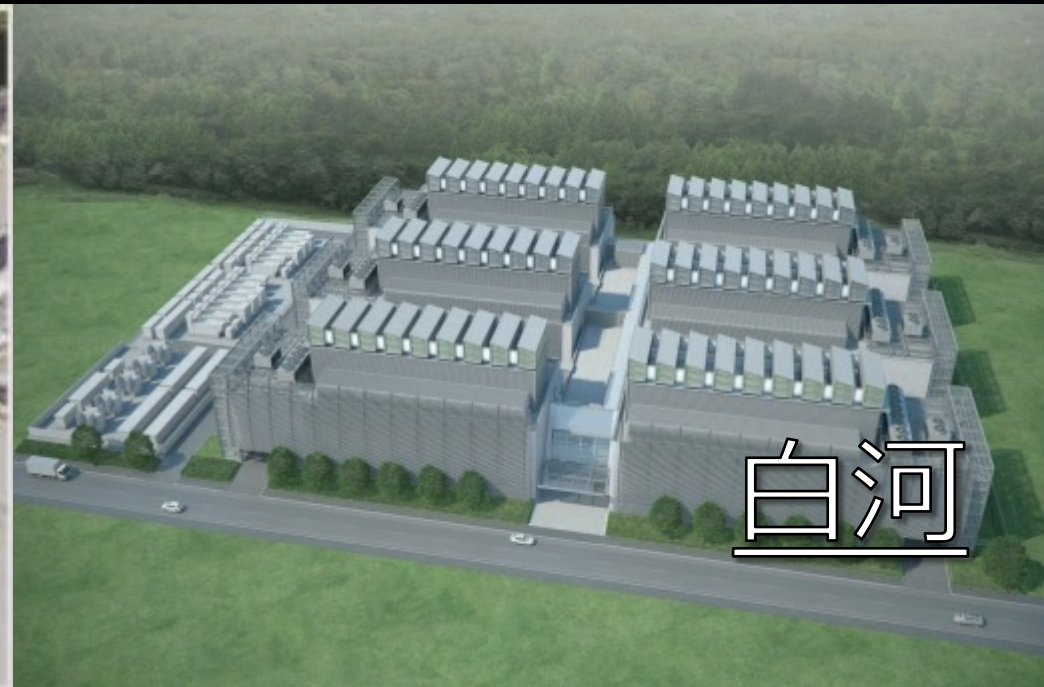
2008年～ クラウドサービス開発



メガスケールDC



MAX 11 buildings 5,500 Racks



Max 9 buildings 5,400 Racks

サーバ約60万台のキャパシティ

メガDCトライアングル

Consolidation and scalability achieved based on the three interconnected DCs



なぜOCPに期待しているのか？

- サービスサーバの増加
 - クラウドコンピューティングサービス
 - ストレージサービス
 - ベアメタルサービス
- 次世代インフラサービス、データセンター
 - コンピューティングの使われ方
 - サーバやネットワーク、DCのあり方
 - 購買、物流、構築、運用

なぜOCPJに取り組んでいるか？

購買、物流、構築、運用

自社だけでは大きな効果をだせない！

オブジェクトストレージサービスに利用

50GB未満無料！

オブジェクト ストレージ

閉域網経由でセキュアにデータ転送

6月末まで！

利用
料金

無料キャンペーン

6月末までにお申し込みのお客さま限定の特別プランも！

定額プラン

10TB 32,000円

3.2円/1GB



セルフクラウドのアカウントを作成して、今すぐお試しください！



たくさんのサーバが必要

取り組む上で

チャレンジはするが、
ギャンブルはしない。

採用を進めた背景

将来のコスト競争

技術、運用面の進歩と蓄積

- 分散技術
- 導入、設定の自動化
- DC運用体制（在庫運用）

採用する上の配慮

- 他社サーバ比較
- 自社設備の活用（既存ラック、既存DC）
- 設計、物流、品質管理などの事前調査

設定、動作検証



サーバー梱包



ラック梱包



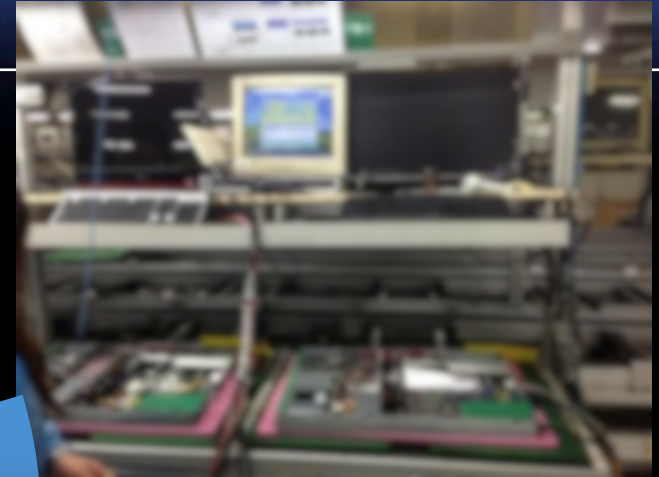
海外発送（コンテナ）



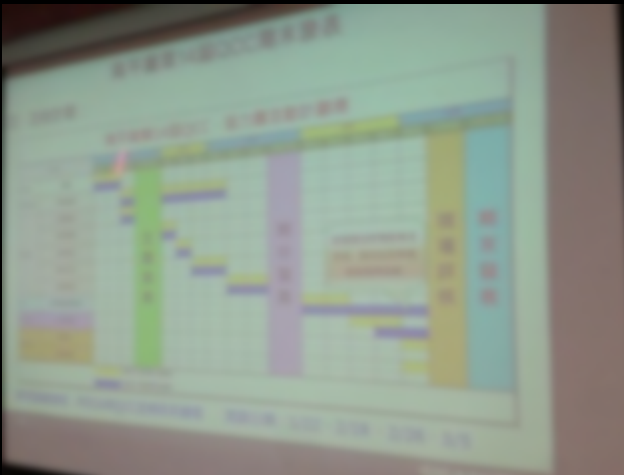
目標値・KPI管理



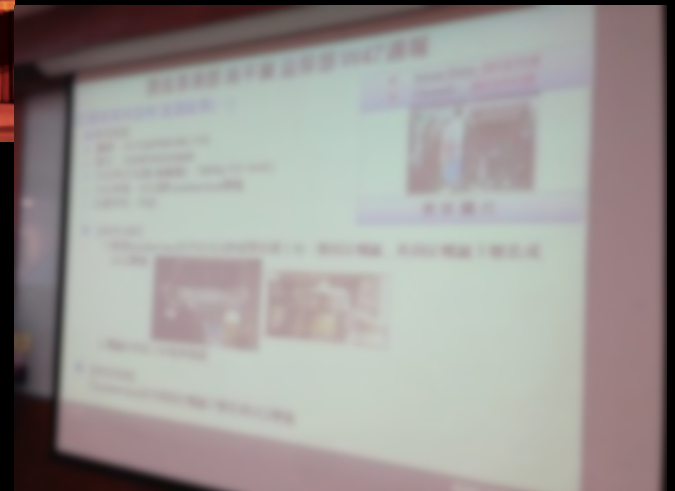
動作検証



改善活動・スケジュール



原因分析



ラック状況



実際に導入してみても

- HWコスト
- HW品質
- 構築
- サポート
- 消費電力

OCPサーバを普及する上での課題

- ターゲット、ロールモデル
 - 誰が欲しいか？
 - 各社がどこまでやるのか。
- 規模、購買力
 - 中堅メーカーも含めた検討。
 - 選択肢増加。
 - 国内利用の推進。
- 標準化 と 既存対応
- 構築力
- 運用力
 - 自動化や現地対応力
 - 適正なアーキテクチャ、運用設計

ご清聴ありがとうございました。